

消す心
置いて下さい
火のそばに

ろく ばん まどい
六 番 纏

発行者
辰野町消防団
第6分団
発行人
中谷英司



ご挨拶



分団長 中谷英司

平成十五年新春のお慶びを謹んで申し上げます。
地元三区の皆様におかれましては、当第六分団に対し
平素より深いご理解と多大なるご支援を賜り、心より
御礼申し上げます。また、折に触れて皆様から直に頂
く激励のお言葉が、団員にとって何よりの励みにもな
っております。おかげさまで当分団は、昨年の郡
下、町下のポンプ操法訓練大会で優秀な成績を収
めることができました。皆様のご支援に対し重ね
て御礼申し上げます。

ここで昨年を振り返りますに、地元三区内において
は大きな災害もなく平穏に一年を過ごせたこと、まず
は何よりと安堵する次第であります。一方で国内外の
情勢に目を向ければ、低迷を続ける経済と打開策のな
い金融政策、保険年金制度の先行きの不安、繰り返さ
れるテロ、大地震の脅威など、これまで対岸の火事に
思えていたことが意外と身近に迫っていたことを実感
させられた一年でもありました。

私共消防団は、自らの手で地元住民の生命財産を守
るといふ職務を第一に、加えてとかく心の結びつきは
希薄になりがちな時代の中で、伝統を守り、諸先輩の
智恵と勇気を語り継ぎ、泥臭くも心温かい仲間たちを
誇りに、郷土を愛し愛されるよう日々研鑽を重ねてま
いる所存にあることを年初の所信と致します。

終わりに、平成十五年が沢底・赤羽・樋口の地元三
区に災害無く、皆様が安寧にお過ごしできる一年であ
ることを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

東海地震に備える

大地震に備える

副分団長 古村 幹夫

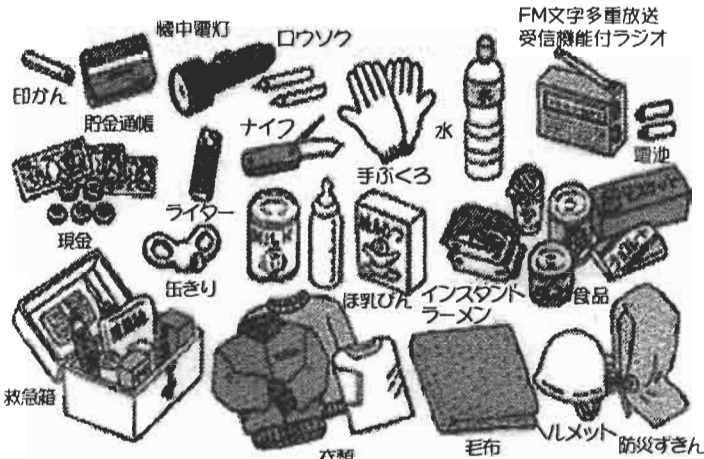
辰野町は、昨年の四月に東海地震の強化地域に追加指定されました。また、秋に発表された糸魚川〜静岡構造線断層帯による地震の震度予測では、今までの予測をはるかに上回る報告がされています。残念ながら、どんなに科学が発達しても、地震の発生自体を抑えることは不可能です。しかし「迎え撃つ」準備を整えることは可能であり、難しい事ではありません。

地震が発生した場合に避難する場所を確認できましたか？非常持ち出し袋の用意はできましたか？家族、親戚との連絡手段は確認できていますか？これら全て準備できているというご家庭はごく僅かだと思います。毎日一点ずつで構いません。確実に準備を進めて下さい。これらの準備が整った方、安心しないで下さい。今までに挙げた準備は、震災が発生した後に生き延びる為の準備であって、地震そのものから貴方を守る手段ではないのです。先ず、皆さんの生活する場所を安全な空間にしましょう。例えば寝室。ある寝具メーカーが「人生の三分の一は睡眠」と言っていました。ならば寝室のタンスを固定したり、高い所にある物を片付けたりするだけで人生の三分の一は安全なスペースで過ごせる計算になるのです。（極論ですが）

震災から守らなければならぬものはたくさんあります。しかし最優先で守って欲しいもの、それは貴方自身の生命です。

防災グッズの紹介

非常持ち出し袋には最低これだけは必要です。



印かん、現金、救急箱、貯金通帳、懐中電灯、ライター、缶切り、ロウソク、ナイフ、衣類、手袋、ほ乳びん、インスタントラーメン、毛布、FM文字多重放送受信機能付ラジオ、食品、ヘルメット、防災ずきん、電池、水

第6分団今年度の成績は！

<p>郡大会 準優勝</p> <p>ポンプ車操法の部</p>	<p>町大会 第4位</p> <p>ラッパ吹奏の部</p>	<p>町大会 第3位</p> <p>小型ポンプ操法の部</p>	<p>町大会 優勝</p> <p>ポンプ車操法の部</p>
<p>救急法競技大会 Bチーム 13位</p> <p>小松 聡明</p>	<p>指揮者 小村 前若中 有村 梶</p> <p>ラッパ手 林上田 尾谷 賀上野</p> <p>和健祥将 貴貴頼</p> <p>行一 晶欣 悟博 彦彦</p>	<p>指揮者 中谷 博 文 記典 浩宗</p> <p>1番員 中谷 沢 光 高</p> <p>2番員 宮 沢 谷 木</p> <p>3番員 中 谷 々</p> <p>補助 佐 々</p>	<p>指揮者 真 弓 隆 彦 平</p> <p>1番員 中 谷 洋 文</p> <p>2番員 久 保 田 祥</p> <p>3番員 古 村 高 洋</p> <p>4番員 黒 沢 克 也</p> <p>補助 有 賀 夏 樹</p>

新入団員紹介



有賀 夏樹

消防団に入ってから、約一年が経ってしまっただけ、正直最初は行く気がなかつたが、多少面白かつた事と、上手く丸め込まれたのがあり、結構頑張った気がする。今思うと、操法期間中はいろいろな大変だったが、勉強になることが多い、いい経験が出来た。今後も、朝夜問わず頑張りたいと思う。



古村 真

昨年辰野町消防団に入団しました。入団当初はすべて初めての経験で戸惑うばかりでした。その中でもラッパには一番戸惑いました。最初は全く音が出ず、練習してやっと三つ四つの音が出るようにはなりました。改めてラッパの難しさを実感しました。今後もラッパを含めた消防としての活動を頑張りたいです。

編集後記

「東海地震」今回はこのテーマに添って広報誌を作成しました。近い将来必ず発生すると言われているこの地震に、この広報誌が区民の皆様に少しでもお役に立てれば、編集委員一同幸いです。

編集委員

- 古村 幹夫
- 花岡 健太郎
- 堀内 晃彦
- 小池 聡明
- 前田 祥晶
- 他 幹部 一同